

2021年度

活動方針・事業計画・収支予算

一般財団法人中部生産性本部

## 2021年度 活動方針

人とモノの流れを分断し、リーマンショックを超える打撃を世界経済に与えたコロナ禍。このコロナ禍においても、わが国の人口減少と少子高齢化は確実に進んでおり、財政や社会保障制度の改革などの課題は、依然取り残されたままです。そのうえSDGsなど社会的課題や周回遅れのデジタル化等新たに取り組まなければならない問題が山積しています。その中で、私たちは、所謂「新常态」に適応するため、社会や企業のあり方はもちろん人々の行動様式まで、大きく変わることを迫られています。

こうした状況の中でも、わが国は、持続的に成長・発展し、活力ある国づくり、地域づくりを進めていかなければなりません。そのためには、社会・経済のあらゆる分野で生産性運動の基本精神である不断の改善と改革を推進すること、すなわち、イノベーションにより付加価値を継続的に創り出し、生産性を向上する必要があります。このコロナ危機を乗り越えて、持続的な経済成長をしていくために今求められているのは、成長の原動力である企業、そしてそこで働く人々が、今回浮き彫りになったデジタル化の遅れなどの課題にスピード感を持って取り組むとともに「新常态」を成長と人々の働き甲斐向上のチャンスと捉え、社会経済システムの変化に適応する新しいビジネスモデルを創っていくことです。

これを推進するのは人材であり、イノベーションを生み出す先端技術分野の人材や新たなビジネスを創り出す次世代リーダーの育成は、企業の最重要テーマの一つになっています。そして、もう一つは、年齢や性別、国籍、雇用形態を問わず、意欲ある人材が能力を高め、それを存分に発揮できる環境整備などダイバーシティの推進への取り組みです。これには当然、定年延長への対応に向けたシニア活用のためのリカレント教育や新たな雇用の創出などの取り組みも含まれています。

中部生産性本部は、会員の皆さまのニーズに応えるべく、当地域の産業の特色を踏まえ、生産性運動の三原則「雇用の維持拡大」、「労使の協力と協議」、「成果の公正な分配」をモットーに、労使学の叡智を結集して、今回のコロナ禍で大きく変化する社会経済環境に適応し、当地域の経済の発展に資する活動を積極的に展開してまいります。

以上の認識を踏まえ、当本部は本年度事業活動の重点実施事項として、次の項目に取り組みます。

## 「危機を発展へと転換させる経営のイノベーション」

コロナ禍以前からテーマとなっているイノベーションによる生産性向上や社会環境の変化の視点とともに、コロナ禍がもたらした社会の変化も新たな切り口として、成長戦略の再構築、マーケット対応、新事業の創出や新製品・技術の開発、イノベーションを生み出す組織風土づくりなど、企業の持続的成長に向けた支援を継続します。

SDGs、デジタルトランスフォーメーション、コンプライアンス・ガバナンス、BCP等や当地域に關係の深い自動車産業関連（CASE、Maasなど）など多様なテーマを取り上げ、イノベーション促進やリスク管理の支援を強化します。

## 「働き方改革と多様な人材の活躍できる仕組みづくり」

コロナ禍により一時的に人材不足感は弱まったものの、少子高齢社会の到来により、長期的には労働力不足は依然大きな課題であり、引き続き安定的に労働力を確保するための様々な方策が求められています。同時にその結果として多様化した人材が能力を十分に発揮できる環境を整え、その力を競争力へ結び付けていくことが一層重要となります。この視点に立って、リモートワークなどの促進による安心かつ生産性の高い働く環境づくり、若手の能力向上や発揮の機会増、定年延長やリカレント教育などによるシニアの活躍促進、管理職のマネジメント力の向上、健康経営の推進など、新たな成長に向けて、働き方改革のみならず高齢者や女性、外国人、障害者など多様な人材がその持てる能力を高め、かつ十分に能力を発揮できる柔軟で働きがいある仕組みづくりを支援します。

## 「サービス産業、中堅中小企業、管理間接部門等の生産性向上」

生産性向上の余地が大きいとされるサービス産業、中堅中小企業、管理間接部門などの生産性向上に向け、コロナ禍で生じた大きな変化点を踏まえつつ、その実情に応じ支援します。中堅中小企業の実業性向上については、企業成長の要である経営者の資質向上に向けた次世代経営革新塾や、自社製品開発につながる革新的製品創出サロンを実施します。また、サービス産業の実業性向上に資する情報提供は各種事業に随時反映し、管理間接部門の実業性向上は管理間接部門の業務改善・改革研究部会を中心に情報提供してまいります。さらには、生産性向上は従来の効率化の視点に加え、新事業の構築など新たな価値の創造の視点を充実させてまいります。

## 「アフターコロナの世界経済の潮流と新たなグローバル活動の模索」

コロナ禍によって世界的に人とモノの動き、流れが分断され、一部日本企業でも、生産が一時的に停止するなど企業活動にも大きな打撃を与えるに至りました。グローバル化が一段と進んだ現在、今後の日本経済、日本企業のあり方を考えていく上で、アフターコロナの世界経済の潮流を把握することが持続的成長に向けた重要なキーとなります。日本企業の新たな発展のためには、そうした潮流を踏まえ、サプライチェーンの一層の分散や国内回帰も含めた製造拠点の見直しなど新たなグローバル体制を構築し、リスクの回避とともに世界経済の成長を取り込んでいくことが、強く求められています。国際情勢の激変と対応について各種セミナーの内容等に反映し、情報提供を図って参ります。

## 「労働組合の実業性向上活動の支援」

企業は、コロナ禍への対応や、少子高齢社会の到来、グローバル活動の更なる広がりなど、大きな変革を迫られており、様々な経営諸施策を進めていかななくてはなりません。そうした中、経営のカウンターパートである労働組合には、企業の健全な発展に貢献し、質の高い雇用を維持拡大していくという考え方の下、労働組合としての企業に対する提言機能を高め、これまで以上に生産性向上活動に取り組んでいく事が求められています。中部地方労働組合実業性会議の活動を通じ、労働組合の行う生産性向上活動を支援します。

## 「会員と地域に支持される実業性本部」

変化する経済社会の中で、時宜を得た事業内容にすべく、会員やセミナー出席者等のニーズの把握に努めるとともに、年度途中も含む不断の実業性見直しにスピード感をもって取り組み、最新の情報を提供してまいります。加えて、役員や会員の皆様の一段の参画、協力を頂き、更なる活動の充実を図ってまいります。また、関連団体の中部IE協会並びに中部マーケティング協会等との連携を強化し、東海3県を中心に北陸地区を含めた中部地域全体における活動を充実します。

## 2021年度 事業計画

### ◆危機を発展へと転換させる経営のイノベーション◆

事業名	対 象	開催月 (年回数)	場 所	
経営革新研究部会	労・使・一般	6月～2月 (6回)	名古屋	専門情報提供
物流管理研究部会	物流部門責任者・担当者	6月～3月 (6回)	名古屋他	専門情報提供
企業法務研究部会	法務部門責任者・担当者	4月～2月 (6回)	名古屋	専門情報提供
独禁法研究部会	法務部門責任者・担当者	6月～3月 (5回)	名古屋	専門情報提供
企業広報研究部会	広報部門責任者・担当者	5月～3月 (6回)	名古屋	専門情報提供
秘書・総務研究部会 <small>(なごや会)</small>	秘書・総務責任者	5月～12月 (6回)	名古屋	ネットワーク支援
中部財界セミナー	経営者・役員	2月	岐阜市	普及啓発
中部生産性会議	労・使・一般	9月	名古屋市	総合情報提供
人と企業の活力化フォーラム	労・使・一般	10・11・12月 (10回)	オンライン	普及啓発
生産性会員講座	労・使・一般	6・3月	名古屋	普及啓発
中部経営革新フォーラム	労・使・一般	3月	名古屋	普及啓発
経営革新入門セミナー	労・使・一般	5月	名古屋	普及啓発
組織力向上セミナー	労・使・一般	7月	未定	専門情報提供

◆働き方改革と多様な人材の活躍できる仕組みづくり◆

事業名	対 象	開催月 (年回数)	場 所	
人事労務問題研究部会	人事・労務部門責任者	5月～12月 (5回)	名古屋	ネットワーク支援
人材育成研究部会	人材開発・教育責任者・スタッフ	6月～2月 (6回)	名古屋	総合情報提供
労使実務研究部会	人事労務部門責任者・労組幹部	5月～12月 (5回)	名古屋	総合情報提供
流通労使研究部会	流通業における人事労務部門責任者、労組幹部	5月～1月 (5回)	名古屋	総合情報提供
生きがい・働きがい研究部会	人事・総務厚生責任者、労組幹部・スタッフ	6月～1月 (5回)	名古屋他	総合情報提供
西日本生産性会議 (中部、関西、中国、四国、九州共催)	中部、関西、中国、四国、九州の生産性本部の労使幹部	7月12日(月) ・13日(火)	広島	総合情報提供
秘書・総務研修セミナー	秘書・総務担当者	7月	名古屋	人材育成
人事賃金制度セミナー	労使の賃金問題担当者	1月	名古屋	専門情報提供
ステップアップ研修	入社2～3年目以降の20代社員	11月	未定	人材育成
マネジメントマインドセミナー	職場のリーダー・マネージャー	8・9月	名古屋	人材育成
労働法基礎講座 <b>【新規】</b>	人事・労務、総務スタッフ、労組幹部・スタッフ	8月	名古屋	専門情報提供

◆サービス産業、中堅中小企業、管理間接部門等の生産性向上◆

事業名	対 象	開催月 (年回数)	場 所	
次世代経営革新塾	中堅中小企業の経営者(経営後継者)	8月～2月 (7回)	名古屋	人材育成
革新的製品創出サロン	中堅中小企業の経営者、幹部	7月～3月 (5回)	名古屋	専門情報提供
管理間接部門の業務改善・改革研究部会	管理間接部門の改善リーダー	7月～2月 (5回)	名古屋	人材育成
ホワイトカラーのパフォーマンス向上講座	管理間接部門等		中止	専門情報提供

◆アフターコロナの世界経済の潮流と新たなグローバル活動の模索◆

事業名	対 象	開催月 (年回数)	場 所	
欧州労使視察団	経営者、人事労務・人材開発部門管理者、労組幹部		中止	国際交流
海外物流視察団	物流部門責任者・担当者		中止	国際交流
グローバル人材育成セミナー	海外に進出企業の人事部門担当、労組役員	12月	名古屋	総合情報提供
その他	グローバルに関する情報提供を各種事業に反映	未定	未定	未定

## ◆労働組合の生産性向上活動の支援◆

事業名	対 象	開催月 (年回数)	場 所	
労働組合実践活動研究部会	労組幹部・リーダー	5月～1月 (7回)	名古屋他	ネットワー ク支援
労組生産性大会	労組幹部	5月	名古屋	ネットワー ク支援
全国労組生産性中央討論集会	労組幹部	未定	東京	関係機関と の連携協調

## ◆会員と地域に支持される生産性本部（関連団体との連携事業等）◆

事業名	対 象	開催月 (年回数)	場 所	
時流に沿った新規事業	未 定	未定	名古屋	未定

※内閣府への提出に当たっての事業内容は以下の通りとする。

### 《普及啓発事業》

生産性会員講座、人と企業の活力化フォーラム、中部財界セミナー、中部経営革新フォーラム、経営革新入門セミナー

### 《ネットワーク支援事業》

労働組合実践活動研究部会、秘書・総務研究部会、人事労務問題研究部会、労組生産性大会

### 《専門情報提供事業》

企業法務研究部会、物流管理研究部会、企業広報研究部会、独禁法研究部会、人事賃金制度セミナー、経営革新研究部会、組織力向上セミナー、革新的製品創出サロン、労働法基礎講座

### 《総合情報提供事業》

流通労使研究部会、人材育成研究部会、労使実務研究部会、生きがい・働きがい研究部会、西日本生産性会議、中部生産性会議、グローバル人材育成セミナー

### 《人材育成事業》

管理間接部門の業務改善・改革研究部会、秘書・総務研修セミナー、次世代経営革新塾、ステップアップ研修、マネジメントマインドセミナー

### 《国際交流事業》

海外視察受入

### 《調査研究及び情報の収集・提供事業》

生産性新聞、図書・資料の提供

### 《関係機関との連携協調事業》

全国労組生産性中央討論集会、国内視察受入

なお、定款の事業との対応関係は次のとおりである。

定款第4条第1項第1号の「生産性運動に関する調査研究」には、《調査研究及び情報の収集・提供事業》が相当する。

同第2号の「セミナー、研究会等の開催」には、《ネットワーク支援事業》、《専門情報提供事業》、《総合情報提供事業》、《人材育成事業》が相当する。

同第3号の「普及啓発」には、《普及啓発事業》が相当する。

同第4号の「国際交流の推進」には、《国際交流事業》が相当する。

同第5号の「情報の収集及び提供」には、《調査研究及び情報の収集・提供事業》が相当する。

同第6号の「関係機関との連携協調事業」には、《関係機関との連携協調事業》が相当する。

# 正味財産増減予算書

2021年 4月1日から2022年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	2021年度予算(a)	2020年度予算(b)	差(a-b)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	4,019,000	3,752,000	267,000
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	449,000	551,000	△ 102,000
③ 受取会費			
賛助会費	79,615,000	82,035,000	△ 2,420,000
その他会費	0	0	0
④ 事業収益			
普及啓発事業収益	20,970,000	20,300,000	670,000
ネットワーク支援事業収益	17,050,000	19,580,000	△ 2,530,000
専門情報提供事業収益	28,810,000	32,780,000	△ 3,970,000
総合情報提供事業収益	23,660,000	37,200,000	△ 13,540,000
人材育成事業収益	9,700,000	10,100,000	△ 400,000
国際交流事業収益	3,250,000	52,250,000	△ 49,000,000
⑤ 負担金収益			
給与等負担金	108,777,000	104,089,000	4,688,000
賃借料負担金	7,760,000	8,650,000	△ 890,000
⑥ 雑収益			
受取利息	2,000	0	2,000
雑収益	0	0	0
経常収益計	304,062,000	371,287,000	△ 67,225,000
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	23,253,000	23,253,000	0
給与賞与	120,271,000	115,454,000	4,817,000
役員退職引当金繰入額	2,663,000	1,692,000	971,000
退職給付費用	11,010,000	10,006,000	1,004,000
給与引当金繰入額	7,348,000	7,032,000	316,000
厚生費	24,558,000	25,181,000	△ 623,000
賃借料	2,813,000	3,251,000	△ 438,000
会場費	11,290,000	14,701,000	△ 3,411,000
会議費	18,782,000	31,426,000	△ 12,644,000
国内旅費交通費	3,070,000	4,080,000	△ 1,010,000
海外旅費経費	0	38,010,000	△ 38,010,000
通信運搬費	3,771,000	3,907,000	△ 136,000
印刷資料費	10,359,000	12,321,000	△ 1,962,000
講師費	13,630,000	15,180,000	△ 1,550,000
減価償却費	5,162,000	6,033,000	△ 871,000
消耗品費	2,063,000	1,914,000	149,000
消耗什器備品費	179,000	180,000	△ 1,000
修繕費	90,000	90,000	0
業務委託費	16,319,000	15,210,000	1,109,000
租税公課	2,130,000	1,730,000	400,000
光熱水料費	743,000	743,000	0
諸会費	30,000	30,000	0
雑費	187,000	207,000	△ 20,000
② 管理費			
役員報酬	5,094,000	5,094,000	0
給与賞与	11,818,000	11,081,000	737,000
役員退職金	0	0	0
役員退職引当金繰入額	565,000	371,000	194,000
退職給付費用	1,224,000	1,154,000	70,000
給与引当金繰入額	2,018,000	1,834,000	184,000
厚生費	3,298,000	2,987,000	311,000
賃借料	1,988,000	1,747,000	241,000
会場費	1,325,000	1,000,000	325,000
会議費	1,000,000	1,089,000	△ 89,000
国内旅費交通費	350,000	700,000	△ 350,000
通信運搬費	405,000	413,000	△ 8,000
印刷資料費	84,000	90,000	△ 6,000
講師費	0	110,000	△ 110,000
減価償却費	753,000	1,068,000	△ 315,000
消耗品費	348,000	347,000	1,000
消耗什器備品	21,000	21,000	0
修繕費	10,000	10,000	0
業務委託費	1,089,000	1,104,000	△ 15,000
租税公課	1,511,000	1,449,000	62,000
光熱水料費	87,000	87,000	0
諸会費	395,000	365,000	30,000
雑費	323,000	379,000	△ 56,000
経常費用計	313,427,000	364,131,000	△ 50,704,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,365,000	7,156,000	△ 16,521,000
基本財産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,365,000	7,156,000	△ 16,521,000

科 目	2021年度予算(a)	2020年度予算(b)	差(a-b)
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,365,000	7,156,000	△ 16,521,000

※2019年度決算正味財産期末残高 1,178,828,589円